

【テーマ8】 団体名 一般社団法人 全国私立大学教職課程協会（全私教協）

「私立大学における教職課程質保証評価の在り方に関する研究」

調査の概要

◆課題認識

教職課程の質保証評価の必要性は広く理解されるようになってきたが、設置数も膨大であり、適した原理を明らかにし、評価方法の確立と具体化が求められる。

◆調査研究の目的

教職課程の設置形態は、大学の目的から多様であり、いわゆる開放制の教員養成を行う教職課程における質保証評価の在り方を具体的に明らかにする。

◆調査研究の方法

- ・全私教協に加盟する私立大学教職課程を対象とする。
- ・私立大学における教職課程質保証評価において、自己点検・評価に重点を置いた研究を行う。

◆調査研究校

本協会加盟424校を対象とする。

◆現状

- ・本協会は全国8地区の地区協議会加盟の私立大学・短期大学から構成されている。
 - ・教職課程の質的向上に取り組んできたが、組織的な質保証評価を行い、認証する活動には未着手であった。
- 本研究により自己点検・評価の開始について一定の見通しを得た。

取組のポイント・成果

◆取組のポイント

①ポイントA

- ・私立大学に適した評価の目的・方法の明確化

②ポイントB

- ・現行教職課程評価の実態を資料調査

③ポイントC

- ・開放制私立大学教職課程を的確に評価する評価基準・指標・項目について、実地に大学を訪問し調査

④ポイントD

- ・「教職課程自己点検・評価基準」の作成を行い、大学において、自己点検・評価に取り組むことを可能とした。

⑤ポイントE

- ・「『教職課程自己点検・評価報告書』作成の手引き」を作成し、大学において取り組む方法及び本協会に結果を報告する手順を解説した。

◆成果

- ・私立大学において可能な教職課程質保証評価の在り方を、加盟校に対する資料調査、訪問調査から明らかにした。
- ・「教職課程自己点検・評価基準」、「『教職課程自己点検・評価報告書』作成の手引き」を完成させたことにより、自己点検・評価を開始する見通しを得た。

現行の評価組織、評価方法・指標、評価に関する経費についてレビュー



現行教職課程評価の実態を資料調査



会員校 424校

「教職課程自己点検・評価基準」作成のための大学訪問調査の実施



「教職課程自己点検・評価基準」の完成

「『教職課程自己点検・評価報告書』作成の手引き」の完成

今後の課題

- ・作成した基準及び手引きを用いた自己点検・評価の試行を行い、正式な実施に繋げる。
- ・自己点検・評価実施のため、本協会の体制充実を図る。
- ・第三者評価実施に向けての調査・研究を継続して行う。

※ 上記項目については一例であり、適宜変更してかまわない。

※ 別紙イー②については、文部科学省において公表する場合がある。